

第2章 基本政策② 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】

第5節 スポーツ・レクリエーション

施策1 スポーツ・レクリエーションの振興

基本計画
掲載頁

88～89

施策の 達成状況	B	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	市内3大学や（公財）新座市スポーツ協会、協会加盟団体等と連携し、市民向けのスポーツ教室やスポーツ大会を開催し、スポーツやレクリエーション活動に親しみやすい機会の創出に努めた。
			課題	市民ニーズの多様化や、部活動地域移行等の新たな課題も生じている中、本市のスポーツ・レクリエーション振興の核となるべき（公財）新座市スポーツ協会が、地域課題の解決に貢献できるよう、市として支援して必要がある。スポーツ施設の利用者は、目標に対しておおむね順調に推移したが、学校施設の遊び場としての開放については、更に周知が必要である。市のスポーツ施設は老朽化が進行しており、施設利用者の安全性や利便性向上等を考慮し、優先順位を検討しながら引き続き施設の改修や備品の更新を進めていく。
今後の 方向性	II	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	今後も引き続き、市民に対してスポーツの普及や健康増進を図るため、関係団体と連携を図りながら、参加しやすい機会の創出や安全に利用できる施設の整備を行う。また、市民ニーズの変化や新たな課題に対応しながらスポーツ・レクリエーションの振興を図るためのため、人材の育成・活用を推進する。

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度※2	所管課
スポーツ施設利用者数（屋外）	266,417人	265,340人					280,000人	B	生涯学習スポーツ課
スポーツ施設利用者数（屋内）	180,062人	194,373人					200,000人	B	生涯学習スポーツ課
学校施設遊び場開放利用者数	—	1,167人					7,000人	C	生涯学習スポーツ課

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】A：目標を上回るベースの指標値 B：目標値を達成するベースの指標値 C：やや遅れ気味

主な施策展開の進捗状況

(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 市民の誰もが生涯を通じて手軽にスポーツやレクリエーション活動に親しむことができるよう、市内3大学やスポーツ協会など関係団体と連携し、スポーツ教室、スポーツ大会やレクリエーション大会などを開催します。また、民間団体等による公益的なスポーツ教室やスポーツイベントなどの開催を支援します。	A（順調）	十文字学園女子大学、立教大学と連携して市民向けのスポーツ教室を実施した。（公財）新座市スポーツ協会及び加盟団体が主催するスポーツ大会の開催を支援した。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
(2) スポーツ環境の整備	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 多様化する市民のニーズを踏まえ、スポーツ施設の充実を図ります。	A（順調）	市民総合体育館への空調設備設置工事、陸上競技場改修工事、総合運動公園野球場B S O表示器改修工事などを実施し、利用者の安全管理や利便性の向上を図ることができた。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○ 学校体育施設を開放するなど、資源の有効活用を通じて誰もがスポーツに親しみやすい環境づくりを進めます。	B（おおむね順調）	市内全小学校の校庭を子どもたちの遊び場として開放し、スポーツに親しみやすい環境づくりに努めた。利用者数には課題が残るため、引き続き事業の周知を行う必要がある。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
(3) スポーツ・レクリエーション振興のための人材育成・活用	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ スポーツ・レクリエーション活動の一層の推進を図るため、スポーツ推進委員の育成に取り組むとともに、地域スポーツ団体の指導者となる人材の発掘と育成に努めます。	A（順調）	所属する埼玉県南部支部南地区スポーツ推進委員との交流や、埼玉県主催の研修への参加などを通じて、スポーツ推進委員の育成に努めた。	教育総務部	生涯学習スポーツ課
○ スポーツ・レクリエーション活動を指導するボランティアに関する情報の収集と活用に努め、登録団体の運営を支援します。	B（おおむね順調）	部活動の地域移行に備えて、スポーツ・レクリエーション指導者に関する情報の収集に努めた。	教育総務部	生涯学習スポーツ課